

第1回武田薬品工業湘南研究所の環境保全に関する連絡会について報告

1. 日時 平成26年5月24日(土) 10:00～11:00
2. 場所 武田薬品工業湘南研究所 会議室
3. 出席者 植木町内会、岡本住宅町内会、鎌倉ロジュマン、鎌倉岡本ガーデンホームズ、四季の杜自治会、ラシェール鎌倉岡本ハイライズ、鎌倉グランマックス：(12名出席)(2名欠席)
武田薬品工業湘南研究所：(6名出席)
鎌倉市(環境保全課)：(2名出席)

4. 内容

武田薬品工業株式会社三井研究業務部長の挨拶、各委員の自己紹介の後に、鎌倉市環境保全課長の司会で、別紙次第に従って連絡会が開催されました。主な内容は次のとおりです。

(1) 連絡会の傍聴について

鎌倉市から現在連絡会は傍聴を認めていないが、市内の団体から傍聴をしたいとの要望が改めてきている。

委員も変更されていることから、これまでの経緯を説明し、今後の連絡会における傍聴の可否について委員に諮りました。

住民：連絡会の運営当初から、特に変わったことはない。今までの運営で情報の開示は十分行われており、改めて、傍聴を認める必要はない。

住民：傍聴は必要ない。

市：連絡会として、今後も傍聴を認めないということによいか。

住民：総員。傍聴を認めないことを了承。

(2) 鎌倉市からの報告

ア 前回の連絡会以降に市が行った事項について説明を行いました。

- ・平成25年6月開催の観光厚生常任委員会において、前回の連絡会で報告した武田薬品湘南研究所に関するリスクアセスメントの報告書について、武田薬品を参考人として招致し、市の説明の後に補足説明及び質疑を行った。
- ・ある市民団体から武田薬品のC4棟施設は法令違反ではないかという質問状が本市に寄せられた。質問の内容は実験室から配管設備を通じ、実験廃液を一か所に集積し、一括滅菌することは文部科学省・環境省で定めた省令に適合していないのではないかというものであった。このため法令を所管する文部科学省に照会をかけたところ、廃棄前に不活化するための設備を設置している点について既に確認済みであり、法令の要件に適合しているものと認められるとの回答があり、文科省では法令に適合していると判断している。文部科学省の職員が現場に来て全ての内容について確認している上での適合という判断であるため、市としても法令に適合していると受けとめている。
- ・市に寄せられた申し入れでは、研究所に対し、カルタヘナ法及び関連法令に適合するか否か、連絡会において武田薬品自身が説明責任を果たすべきとの要望がありましたので、武田薬品工業にその旨を要請しました。

イ 武田薬品からの説明

上記の要請に対して、武田薬品から平成 23 年 11 月に発生した実験廃液の漏えい事故の際、文部科学省より調査員 2 名が来訪し、詳細に現場の確認を行い、どのような作業の中で事故に至ったのか等経緯についての事情聴取も含め、その際に施設の調査も行われた。漏出箇所についても確認と調査が行われ、不活化処理されていることが確認された。さらに詳細な調査結果及び原因究明、再発防止策を講じるよう指導を受けた。その後、文部科学省から法令違反であるという指摘もなく、指導も一切ない。

この件については市民団体が来訪した際に同様の説明を繰り返してきたが、なかなか理解してもらえないのが現状だ。

(3) 武田薬品工業株式会社からの報告

資料に沿って、昨年度 1 年間に実施した環境測定結果報告及び近況報告、騒音調査の状況報告、大雪による施設内の倒壊倉庫対応、環境モニターの推薦の依頼、研究所周辺で行っているボランティア清掃、秋祭り、グラウンドの貸出について説明がありました。

主な内容は次のとおりです。

・環境測定結果報告

排気のガスエンジン・ボイラーについては測定日に休止中であったため、別の日に実施した機器もあったが、全て管理基準を満足するものであった。

また騒音については、隣接敷地の機械音や虫の声等で超過した時間帯もあった。

測定項目について、概ねすべての項目について管理目標値を満足していた。

・騒音調査について

平成 24 年の春に近隣住民から申立のあった騒音について、住民が音を感じたときに詳細な調査を行うように 3 月に 4 日間候補日を選んで準備をしたが、残念ながら候補日には騒音が感じられなかった。騒音が確認されない状況ではあるが、武田から発生している騒音がどのように近隣に届いているかを確認する目的で調査を行った。

騒音を感じない時に調査を行ったためか、騒音源と想定した機器からの音は敷地北側地域において問題のない値であった。今後も原因の究明に努めたい。

・大雪による施設内の倒壊倉庫対応

6 月から事前調査・届出等を行い、7 月に撤去工事を行う予定。

・環境モニター推薦依頼

昨年度もお願いした環境モニターについて、各自治会町内会に今年度も推薦をお願いします。

・ボランティア清掃、秋祭り、グラウンドの貸出

年 4 回研究所職員が研究所周辺のボランティア清掃を行い、昨年秋には秋祭りを開催した。なお、春の「桜と新緑を楽しむ散策」は悪天候のため中止した。今年も同様のイベントの実施を考えている。

また、4 月から研究所内のグラウンドの貸出を両市のスポーツ課を通じて始めた。

主な質疑内容

住民：騒音は昨年から対応をしてもらい、3月に測定も行って調査のレポートも出している。その中には敷地内では騒音があるが周辺はない状況になっている。立地条件で測定値は変わると思うが、継続して測定等の対応をしてほしい。

武田：騒音は距離が離れるほど減衰し、距離があれば聞こえなくなる。対策としては発生源で音を落とすことが考えられる。屋上での機器が継続的に大きい音を発生させており、24時間動いていて音は出続けている状態であるが、今までの申立ては、時折聞えている状況で対応が難しい。

今回、申立人宅から最も近く、騒音原因として懸念される屋上機器からの騒音の伝わり方を調査したが、原因が究明できず、住民の納得できるものではなかった。音源を特定できれば対応も容易になるので、聞こえたときに住民とともに調査をしたいと考えている。

住民：コスト的、物理的に対応できればお願いしたい。

敷地内は聞こえているが、敷地外は聞こえない状況の中、研究所ができてから住民が苦情を訴えているので、建物の反射などいろいろ考えられるが対応をお願いしたい。

武田：建物が建ってからと聞いているので、何か原因があると考えている。

市：市でも、聞こえたと連絡を受けた場合には、現場に行き音を聞き、音源の特定に努めたい。

住民：前回の連絡会でも質問したが、大災害時の連絡体制はできているのか。

市：大地震などの災害時には、災害対策本部が設置される。

連絡は被害状況によって対応することになり、広報車や防災無線を使用することが想定される。連絡会委員の皆様の連絡先を武田薬品に提供しているため、直接連絡する場合もある。

住民：手順は決まっているのか。

市：災害時は、武田薬品に特化した対応をしているわけではないが、武田薬品とは個別に被害状況を確認することになっており、状況に応じて対応していく。

住民：災害時は車が走れないことも想定されるがどのような対応をとるのか。

市：防災メールや防災無線を活用することになる。

住民：グラウンドの貸出は、混んでいる状況か。

武田：今のところサッカーやラグビーに貸し出している。グラウンドの仕様が多目的利用で設計されており、野球については、利用に適していないこととボールの飛び出しのリスクもあり、ご遠慮いただいている。

駐車場、トイレなど利用ルールについては、市と連携しており、スポーツ課に問い合わせをお願いしたい。現時点では、それほど混んでいない。

住民：少年サッカーを運営しているが、グラウンドの確保が難しいので活用したいが可能か。

武田：可能だと考えているが、市のスポーツ課に確認してほしい。

住民：サッカー協会、ラグビー協会に加盟しているところが申し込むと聞いている。

武田：4月から開放を始めたばかりで、今後試行錯誤で進めていきたい。現時点で、利用者の年齢などに特に制限は設けていない。

住民：ゲートボールで使用したいとの声があった場合に貸出は可能か。

武田：藤沢市からゲートボールで使えないかとの問い合わせを頂いた。可能であると思うが、芝生（でこぼこ）のため使いづらい面もあると回答している。

住民：環境測定の測定ポイントが外部に面したところしかないが内部には測定ポイントはないのか。

武田：環境測定の基準が敷地境界上になっているため外部のポイントを示している。内部も定期的に行っている。ポイントは、例えば大きい機器の近傍や排水の各建屋の排出部分で行っている。

住民：大雪で倉庫が倒壊したと説明があったが、他にそのような建物はあるのかまた対策は行われているのか。

武田：今回倒壊したものは、昭和40年に建てたもので、湘南研究所建設時に補強工事を実施していない建屋であった。

その他の古い建物は、研究所建設時に補強工事を行っている。

住民：災害時の武田薬品の協力体制はどのようなになっているのか。

武田：以前は広域避難場所に指定されていた。研究所建設時に指定から外れ、完成時に再度利用できる旨を伝えたが、既にほかの場所を指定しているので、指定されない状況になっている。

災害時には、必要に応じて広報車を出すなど行政と連絡を取ってから対応したいと考えている。

万が一の時には、避難して湘南研究所を使用してもらうのは可能である。

住民：近隣に川があるので、水害も心配である。治療用の薬品の提供などあれば非常にありがたい。

武田：研究所内には、クリニックもあるので対応はできると思う。

武田：食料や医薬品などある程度備蓄もあるので、非常時には臨機応変に対応していきたい

住民：マンション等で行うイベントへの武田の協賛は可能か。

武田：玉縄祭りや玉縄城の築城イベント、オリエンテーリングなどに協力した実績がある。内容により検討したい。

武田：前の話に戻るが、排水調査では所内の17カ所の中継貯留槽で排水調査でも行っており、外部に排水する前に調査することにより、二重管理を行っている。

住民：今回の資料を地元の住民に回覧してもよいか。

武田：構いません。

5. その他

次回連絡会の開催は、今年度同様に環境調査の結果が 5 月頃まとまるので、それ以降に開催したいと考えている。

また、それ以外に委員の皆様から要望があれば、武田薬品と調整の上開催したいと考えていることを伝え、了承を得ました。